

# 稲刈りは10月11日に 田んぼは秋バージョン

広町田んぼの会

稲穂が頭を垂れ始めました。穂がスズメに食べられないよう、8月31日、防鳥ネットと防鳥テープを張ったところ、田んぼの気配がひと味、変わりました。残暑はぶり返すでしょうが、田んぼはもう秋バージョンです。稲刈り祭の日程も、10月11日（土）と決めました。雨なら、翌12日（日）に順延します。

## スズメ除けのネット張り

御所谷上流側の田んぼ3枚には、スズメを通さない目が3センチ角のネットを張りました。タケの支柱8～12本を畦に立て、ネットを張り麻ひもで止めたあと、ネットを押し上げるように、T字型にタケを組んだトンボを中央に立てました。



スズメは空を飛んで来ますが、田んぼ近くで地面に舞い降り、歩いて餌の穂に近づきます。ネットの裾が開いていると、効果がありません。緑色にコーティングされた長さ20センチほどの針金U字型に曲げ、ネットの裾を畦に突き刺して固定しました。

## 田んぼ3枚にはキラキラ・テープ

下流側の3枚には、表がえんじ色、裏が銀色の防鳥テープを張りました。田んぼ中央に立てた支柱から放射状に8本のテープを張り、畦に立てた支柱につなぎました。支柱同士もテープで結びました。テープは幅1センチほどですが、わずかな風でも裏返りキラキラ光って、思いのほか目立ちます。



## ヤンマたちが産卵に

去年もそうでしたが、ネットを張るとトンボの大型であるヤンマたちが寄って来ます。ことしもネットを張ってすぐ、尾がアズキ色のマルタンヤンマのメスがネットの中に入りこみ、網目を押し広げて解放しました。オニヤンマも閉じ込められましたが、これは自力で脱出したようです。

ギンヤンマのカップルが繋がったまま、ネットに沿って水路の上を飛んで行きました。産卵場所を探していたのでしょう。ヤンマたちは4年前から、田んぼ周辺に産卵を再開しています。

